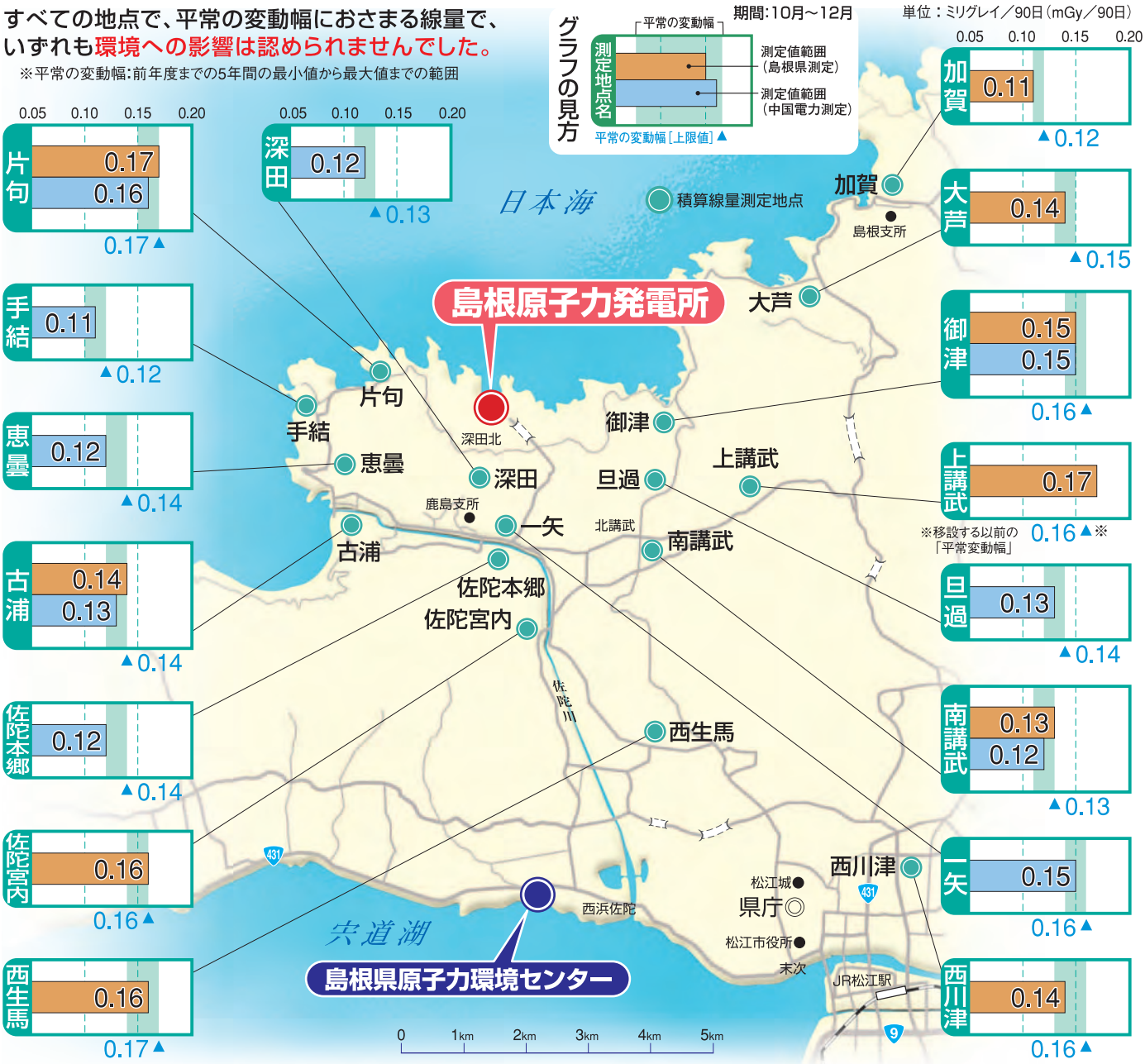
空間放射線積算線量 － 各測定地点で3ヵ月にわたって測定された放射線の合計量 －

すべての地点で、平常の変動幅におさまる線量で、
いずれも環境への影響は認められませんでした。

※平常の変動幅：前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲



環境試料中の放射能

－農畜産物、海産生物、土壌、水、塵などに含まれる放射性物質の種類と量を測定しています－

一部の試料から過去の大気圏内核実験などによるものと思われる微量の放射能を検出しましたが、島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

●ストロンチウム90測定結果（平成20年7月）

試料区分	測定結果	平常の変動幅（^{90}Sr）
わかめ	0.09ベクレル/kg（生）	ND～0.08

※^{90}Sr：ストロンチウム90
※ストロンチウム90の分析・評価には時間を要するため、1期ずらして報告しています。

●ガンマ線スペクトロメトリーによる分析結果（平成20年10月～12月）

試料区分	測定結果	平常の変動幅（^{137}Cs）
大根	ND（検出下限値未満）	ND～0.06
ほうれん草	ND	ND～0.12
精米	ND	ND～0.01
原乳	ND	ND（^{131}I）
さざえ	ND	ND～0.13

※「平常の変動幅」は前年度までの過去10年間の最小値から最大値までの範囲です。
※「ND」は検出下限値未満を示します。
※^{137}Cs：セシウム137、^{131}I：ヨウ素131
※ガンマ線スペクトロメトリー対象核種～原乳：^{131}I、その他の試料：^{54}Mn、^{59}Fe、^{58}Co、^{60}Co、^{137}Cs
※単位：浮遊塵 μベクレル/m^3、原乳 mベクレル/ℓ、植物・農産物・海産生物 ベクレル/kg（生）